

# ふゆのあそび 五七五

58

平成二十二年二月一日

広島市立中島小学校



## 今月のおすすめの句

カーテンにきれいなもようつきあがる

二年 筑間 日菜

春めいてジャンパー一枚ぬごうかな

六年 赤畑 祐樹

梅香る春がそこまでいそぎ足

六年 石橋 拓

零下二度雪舞う空に手を伸ばす

六年 川端 美雪

おしょうがつおせちりょうりおいしいな

五年 梶山 大樹

## 【冬 冬の自然】

さむいふゆふとんであったかきもちいな

一年 國近 理人

ふゆおわりもうすぐはるだたのしみだ

二年 宇都宮月花

なべの中冬だいこんがグツグツと

六年 濱本 琳花

冴ゆる風ピリリとはださし目が覚める

六年 伊藤 奏

はく息も白くなりけり雪一面

六年 石橋 拓

雪だるま水になってまた来年

六年 小谷 風斗

雪が舞う真っ白な校庭も美しい

六年 三野 伊純

山茶花は花びらいっぱいオシャレだな

六年 平本花菜子

一年で最も寒い大寒をすぎ、そろそろ立春を迎えます。五七五の仲間も冬を体感し、一方では春を楽しみに待っているようです。

暮しの中で、自然やできごとをよく見つめ、感じたことをじっくりとふり返り、ぴったりの言葉を見つけてまとめましょう。自分らしいものの見方、感じ方の表れた五七五を待っています。

## 【お正月】

お正月おもちをついたたのしいな

一年 上田 舞

おしょうがつおせちりょうりたべたいな

一年 天満 裕子

## 【春 梅の香】

春めいてかげとかけっこどこまでも

六年 園田 祥子

梅の香少し鼻にくるそこがいい

六年 加藤 尚和

梅の香のにおいにさそわれひとねむり

六年 左田 菜穂

どこからか梅の香ふわふわ流れてく

六年 庄司 幹生

遠くまでゆっくり伝える梅の香

六年 藤田菜海子

## 【その他】

おがわにはすいすいおよぐめだかい

一年 酒井 葉

しあわせはよいことするとでてくるよ

二年 三浦 理紗

青ねぎをうどんに入れてつまさ増す

六年 山床 優太